

院内トリアージの実施について

院内トリアージとは

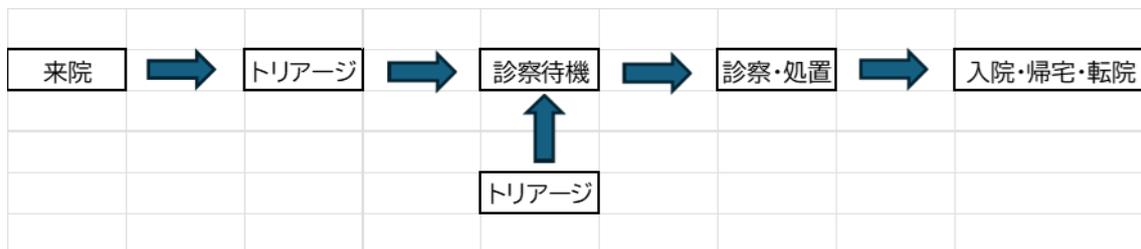
診察前に医師または、看護師が症状を伺い、患者さんの緊急度を判断し、より早期に診察を要する患者さんから優先して診療する仕組みです。

当院では、時間外(夜間・休日または深夜)において、受診された初診の患者さんに対して、上記のような対応を取らせて頂いております。

従って、緊急性の高い方は受診順に関係なく優先的に診察を行い、逆に、緊急性の低い方は、早く受付されても待ち時間が長くなる可能性があります。

当院では、このような対応に対して、厚生労働省が定めた「院内トリアージ実施料」を算定しております。

この料金は、緊急度が高いため、優先的に診療を受けた患者さんだけでなく、トリアージの結果、待ち時間が長くなってしまった方にも適応されますので、ご了承ください。



【判定基準(START法の準拠)】		
緊急度判定レベル	特徴例	待ち時間
レベル1ー蘇生(Blue)	高度の意識障害、ショック、重度の呼吸障害	観察の継続
レベル2ー緊急(Red)	心原性胸痛、激しい頭痛、中等度の意識障害	15分毎
レベル3ー準緊急(Yellow)	動くと痛む胸痛、中等度の頭痛、変形のある四肢外傷	30分毎
レベル4ー低緊急(Green)	捻挫、意識障害のない頭部外傷、縫合のいる擦過傷	60分毎
レベル5ー非緊急(White)	風邪症状、軽度の腹痛、擦過傷	120分毎